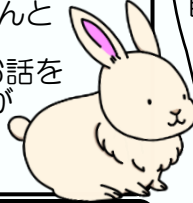


前月は初めての運動会を経験しました。運動会に向けての日々の取り組みの中で子どもたちの姿から感じたことは「たのしい!」という思いでした。走ることや跳ぶこと、表現すること、踊ることなど、一つひとつの活動の取り組みから楽しんでいる姿や思いが伝わり、日を追うごとに表現豊かになる子どもたちのありのままの姿に大きな成長を感じました。運動会当日は、大好きなお家の方に見守られる中で、25人全員で迎えることができたこと、子どもたちと一緒に運動会を楽しんだことや一生懸命取り組みだことはとても良い経験になり、自信に繋がっていると思います。

最近では肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、秋の訪れを感じられるようになってきました。11月は収穫感謝礼拝や秋のバス遠足があります。神さまが私たちに与えてくださった豊かな恵みや自然に感謝し、目で見、肌で感じながら五感を通して秋の自然を満喫したいと思います。初めてのバス遠足ですが、大好きなひつじ組とぞう組のお兄さん、お姉さんと一緒に楽しい時間を過ごしたいと思います。

また、20日(月)にはアドベントを迎えます。礼拝の中でお話を聞いたり、少しずつ増えていく飾りを見ながら、イエスさまがお生まれになった嬉しい日を迎えたいと思います。お家の方への心を込めたクリスマスプレゼントも楽しみにしてくださいね。



クッキングを楽しむ中でひとコマ。嬉しいスモックと三角巾に身を包み、準備万端の子どもたち。クッキングが始まると、頼もしい姿を見せてくれました。

Aちゃん「やってもいい?」
Bくん「じゃあつぎぼくがする!」
Cちゃん「じゅんばんでしょうね。」

自分たちで順番を決め、交代しながら役割が偏らないように取り組んでいた子どもたち。自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちも思いやりながら楽しむ姿に頼もしさと成長を感じました。

ひつじ組の“楽しい秋”です!! その1つめが『運動会』でした。日々みんなで一緒に取り組んできた姿を大好きなお家の方にも見てもらい、当日はドキドキ緊張もありましたが、子どもたち一人ひとりの一生懸命な気持ちが素晴らしかったです。一つひとつの経験が子どもたちの自信や喜びにつながっていると思います。そして今、園庭では「ぞう組さんがやっていたリレーがやりたい!」とバトンを持ってリレーごっこを楽しんでいます。憧れのぞう組の姿を見ながら一つひとつ経験する中で成長していく様子が嬉しく思います。そして、まだまだ続くひつじ組の“楽しい秋”は『制作』です。ハロウィンでは、なりたい物を自分でイメージしながら、材料の中から選んで作ったり、作っているうちに次のアイデアが浮かんだり、と楽しんでいます。物を大切に使うということも日々の活動の中で伝えていきます。ついつい目の前のことに夢中になってしまいがちですが、はさみを使った後はケースに戻すことや、使ったものは元に戻すなどみんなが気持ちよく過ごすために必要な大切なことに気づいていけるように話しています。子どもたちも自分たちで気づきお互いに「はさみ、ケースに入れるの忘れてるよ!」など、声を掛け合う姿も見られるようになってきました。ひつじ組『食欲の秋』は、10月から給食で箸を使い始めたことです。お箸を使うことで食欲もさらに増してきたように思います。「ほら、つかめたよ!」とお箸を使って食べることも大きくなった自信に繋がっているようです。

今月は収穫感謝礼拝があります。神さまがくださったたくさんの恵みに感謝するとともに、いつもお世話になっている方々に気づき、感謝の気持ちを伝えたいと思います。そして20日(月)からは、クリスマスアドベントです。クリスマスのお話を聞いたり、お家の方にプレゼント作りをしたりしながらクリスマスを楽しみに過ごしていきたいと思います。



園庭での戸外遊び中、たくさんのカラスが「カーカー」鳴いているのが聞こえました。

担任「何があったんだろう...?」

Aちゃん「きっと、おにごっこしてるんだよ!」

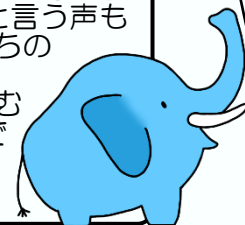
Bちゃん「そうだよ! カラスっておにごっこだけじゃなくて、はなしたり、けんかもしているんだよ!」

実はしっかりカラスの観察をしていることや、カラスの気持ちを考えているところがかわいくて、ほっこりしました。

秋も深まり、ぞう組では今、“芸術の秋”が到来しています。11月13日(月)~11月15日(水)に異年齢の友だちや先生たちを招いて『屋台』をテーマにごっこ遊びを開催することが決定し、さらに意欲的に取り組んでいます。一学期からお店屋さんごっこをすることを楽しみにしていた子どもたちは、屋台にはどんなお店があるのか、どんなお店があるとワクワクするかなど、お客さんの気持ちも考え、アイデアを出し合いながらお店の内容も決めていきました。グループごとに保育者と一緒に作るものや準備物を確認する中で、イメージが膨らんでいき、グループの友だちだけで話し合いを進め、必要なものを協力しながら作る姿も見られました。子どもたちが主体となって次々に進めていく姿はとても頼もしく、子どもたちの成長を感じました。当日に向けて、異年齢児との関わりで気を付けることを考えたり、みんなが安全に楽しんで参加するためのルールを作ったりするなど、お店屋さんとしての役割も考えながら、進めていきたいと思っています。

11月6日(月)は、神さまの豊かな恵みに感謝し、収穫感謝礼拝の時を守ります。日頃お世話になっている方々の働きを知り、感謝の気持ちを持ってカード作りも進めています。「ぼくたち、制作好きだし、自分たちで考えられるからどんなカードにするかみんなで決めたい!」という声も聞かれ、どんなカードを作るかもクラスで考えました。気持ちのこもったカードを届けに行く日も心待ちにしています。

また、11月20日(月)からクリスマスの日を待ち望むアドベント(待降節)に入ります。ぞう組はクリスマス礼拝でページェント(聖誕劇)を行います。イエスさまのご降誕の意味を知り、喜びをもって取り組んでいきたいと思っています。



就学前健診を終え、小学校への期待も高まってきているぞうぐみの子どもたちのある日のつぶやきです。

Aちゃん「根岸先生は、いつ保育センターを卒園するの?」

保育者「いつだと思う?」

Aちゃん「ん〜。早く卒園して欲しい。そうしたら、次は小学校の先生になれるでしょ? 私の行く小学校に来て欲しいもん。」

担任も保育センターを卒園すると次は小学校へ行き、一緒に過ごせると思っていたようです。子どもたちの発想がとてもかわいいです。